

議会だより

発行：八郎瀧町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎瀧町字大道80

TEL 018-875-5810

謹賀新年



改築新装された駅前駐輪場



緊急雇用創出基金事業で整備された浦城跡



狭い道路に対応するため購入した小型ロータリー除雪車



鉄骨と更衣棟の塗装工事が完了したB & Gプール

- ◆ 2ページ 議長あいさつ
- ◆ 3～8ページ 一般質問
- ◆ 8ページ 議員表彰 / 各常任委員会
- ◆ 9ページ 12月定例会議案
- ◆ 10ページ ... 請願・陳情 / 議会のうごき





新年のあいさつ

八郎潟町議会議長

小野

廣



新年あけましておめでとうございませう。

平成22年の年頭に当たり、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

町民の皆様方には、明るく希望に満ちた新年をご家族おそろいで清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は6月1日から町民が待ち望んでいた高度浄水処理施設による通水が開始され、「安全・安心でおいしい水道水」が町民に喜ばれており、事業の効果と認識しているところであります。

6月議会では他町村にさきがけ、議員発議による「湖東総合病院の移転改築計画の促進を求める意見書」と「医師不足の解消と地域医療体制の確保を求める意見書」を佐竹知事、厚生連等関係者に提出しております。その後12月に入るや、湖東総合病院の存続問題が新聞紙上ににぎわし、議会としても大変危惧しているところであり、町当局と議会が一体と

なつて存続に向け全力を傾注して参りたいと存じます。

さらには国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業で各種事業（表紙写真等）が実施されました。また、政権交代により民主党連立政権が誕生したことによる新たな政策に期待しておるところですが、いまだ地方に対しての政策がはつきりと見えてこないことから不安も感じているところであります。

ご存じのとおり、わが国の経済状況は依然として先行きが不透明であり、わが町でも少子高齢化の進展や、雇用の問題など山積しております。そうした中にありましても、皆様方の付託とご期待に沿うべく、議会としても「安全・安心な八郎潟町」を作るべく頑張つて参る所存であります。

新しい年を迎え、町民の皆様方のご健勝と御多幸を議員一同心よりご祈念申し上げますとともに、町議会への変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭にあたつてのご挨拶といたします。

謹賀新年



議長

小野 廣

副議長

三戸 留吉

議員

伊藤 秋雄

菊地 文人

金 一義

近藤 美喜雄

八柳 祐孝

北嶋 賢子

村井 剛

佐藤 長

畠山 金美

(議席順)

一般質問

近藤美喜雄 議員

あらためて町づくりの基本姿勢を問う

問 18年度に、町民を震撼させた実質公債費比率

24・9%（3カ年）は、20年度決算では20・9%に、単年度では18・5%まで改善し、各種基金残高も増加している。まず、基本である財政を安定させたいとすることについては同感である。反面、少子高齢化の進行と雇用情勢の悪化は、更に若者の転出に拍車をかけ、町の元気が失われていきます。今後町をどのように導いて行くのか、どんな町にしたいのか、将来指針が大変重要である。町長の考え方をうかがいたい。

町長 新政権が誕生し3カ月、いまだ来年度以降の政策が見えていない。現政権の政策を把握しながら、抜本的な対策を講じていきたいと考えている。

基本構想の23年度以降の後期計画についても、あわせて見直しをしたい。基本構想の見直しについては、専門委員会ではなく職員で対応したい。

湖東病院の進捗状況について

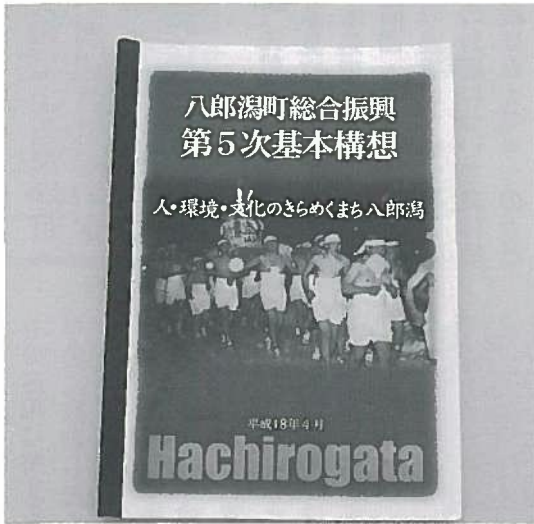
問 「湖東総合病院を廃止することが、経営改善

上最も有効な選択肢である」との新聞報道に驚いた。地域とともに歩んで来た長い道程を考え、今また病院の改築を真剣に協議してきた関係町村に

ならん事前説明もなく、頭越しに廃止検討が発表されたことは理解できない。厚生連（県も含め）の説明会が開催されるよう、町に要望方お願いしたい。

町長 12月1日に経営改

善計画の説明があった。「廃止」と言うことは納得できない。今後4町村で協議しながら、県、厚生連との協議にのぞむ。また、南秋議長会から要望のあった、署名活動については、本町では町内会の協力をいただいて実施する。厚生連の説明会については、4町村で相談しながら歩調を合わせ進めたい。



八郎潟町総合振興第5次基本構想

住宅リフォームに助成を

問 住宅リフォームに助成を。地域活性化経済危機対策交付金で横手市が

今年6月から、三種町が11月から実施。建設工事には多くの業種と職人が関わり、大量の材料や資材も動くため、投下された資金が地元を還流して経済効果も大きく、年末、年度末を控え早急な対策が必要と思うが。

町長 日本経済はデフレ傾向にあり、雇用消費に於いても大変厳しい状況にある事は十分に認識している。地域活性化経済危機対策交付金事業は、町内業者に対し、各種事業を展開。雇用と仕事の確保に努めている。住宅リフォームの助成については、耐震、バリアフリー、省エネルギー等、省エネリフォーム等は国の補助金、融資制度、減税措置等があり、現時点での実施は考えてない。

北嶋 賢子 議員

高岡山麓道から浦城跡駐車場に行けるよう連結整備を

問 高岡山麓道から浦城跡駐車場に行けるよう連結整備を。実現したら、琴丘の山麓道に引けを取らない、ウォーキングコースになると思う。浦城跡の開発事業とならないか。

町長 浦城跡はこの一年で大きく姿を変え見応えのある史跡となった。町の貴重な観光資源として、多くの観光客の訪れを期待している。浦城の歴史を伝える会は、城跡とむらくもの滝を結ぶ散策道の整備中。町は、むらくもの滝を起点とする、いこいの森散策道の整備を進めており連結道は今のところ考えてない。

防災行政無線の活用

問 防災行政無線の活用について。第一次産業が廃れたとしても、圧倒的な農家は兼業で頑張っています。朝仕事の区切りのチャイムは貴重です。農繁期間だけでも流せないか、JA女性部としての願いです。また天気予報等で警報が発令された時には注意の喚起を。

町長 平成19年度事業で



防災行政無線ハンザマスト

更新、平成20年2月から放送。放送開始時は朝6時のチャイムも放送していた。多様な職種があり、町民からの苦情も多く中止した。緊急の場合を除いて今後も朝の放送はしない。警報が発令時は、気象庁からの情報等を的確に判断しながら対応をする。

再 定年まで三交代をした人もいます。うるさくないオルゴールのようなチャイムでも希望したいと思います。

大雨による馬場目川周辺住区の増水事案にかかわる意見交換会について

問 先般開かれた関係者の意見交換会において、

排水処理機能の状況や、消防団・県・土地改良区との連携について等、今後の対応について具体的な手段はみえてきたのかどうか。住民の生命、財産にかかる会議は情報公開するべきと思う。

町長 周辺住区の不安の解消として、少しでも安心できる方策を町として見出していきたい。会議では、県気象庁からの大雨時の警報等の連絡体制や、職員の招集、消防団への出動要請などを説明している。町内会長からは、町全体の水路調査の実施、増水時における防潮水門の弾力的な運用などについての御意見御要望をいただいた。具体的な対応策としては、堤防水

畠山 金美 議員

門の管理者である県と、その運用に関する協定を早急に締結したうえで、今後の馬場目川の急激な水位上昇への効果面での検証をしながら対応していく。また、船着き場の堤防で確認された6カ所の亀裂に対しては、県への要請で補修をすでに終えている。

社会教育における自主学習活動推進の体制整備について

それに付随した備品の拡充は可能か。

教育長 現在貸出できる機器は、ワイヤレスアンテナ1台、DVDプレーヤー1台、プロジェクター1台がある。これらの機器はいつでも貸出可能であり、公民館事業以外でも使用を認めていきたいと考えている。また、機器類の増設については、町の財政状況を勘案しながら、今後の事業計画や使用頻度を考慮しながら検討してみたいと思う。今後、利用者自体の操作全般についても検討して

問 学習需要が多様化する中、拠点である公民館の整備いかんによっては、企画運営を町民が行う自主活動の活性化を促すことができるのではないか。

1. 公民館内の音響設備に、誰でも簡単に操作できる簡易型の装置をプラスできないか。
2. 野外での学習活動に対応できるように、公民館からの持ち出しと、



EM菌での生ごみ堆肥化運動展開中
婦人会と馬場目川河川区環境保全会のみなさん

いくことで、若い世代の人達が公民館とかかわることが多くなる事イコール人材育成に繋がっていくことが期待できるものと考えている。

特徴ある町づくりをどのように進めていくのかについて

問 エコタウン宣言をする考えはないか。
わが町は、八郎湖のオーコ問題を抱えている。高度浄水へも対応してい

る。生ゴミの堆肥化への活動が活発化しつつある。環境保全米へのバックアップも必要。資源ゴミの回収をさらに促進。そうしたすでに動き出している活動を連動させ、町のアピールとして、企業誘致や定住促進につなげ、さらに商店街も連動することで、安心安全な商品が手に入る商店街作りにつなげていける可能

性があるのではないかと。町長 本町において、今後これらを力強く連動させ、エコ活動による町づくりを推進していきたい。しかし、町全体で実施ということになると、大変な労力を伴う。快適な生活に逆行する場面や、高齢者世帯への支援という問題もあるため、検討しながら対応していく。

村井 剛 議員

新政権下での農政について

問 この度の政変で、経営規模拡大による構造改革路線から、戸別所得補償制度の導入と、農政の根幹が一変した。

次の事項を問う。

- ① 戸別所得補償制度の詳細とメリットは？
- ② 米粉を使った加工品の開発に取り組んでは？
- ③ 今年から取り組んだ、環境保全米の実態は？

町長 ① 転作実施、共済加入が基本。転作奨励金は、米粉・飼料米は、8万円。大豆は、3万5千円。加工米は、2万円。主食米への所得補償制度では、販売価格と生産費用を、全国一律の単価で算定する。この制度では、小規模農家には、転作実施の面で厳しい。又、大豆の生産においても、収入減で厳しい。尚、県の説明会が、この25日に開催されるので、国の政策が明確になりしだい、農

家に説明する。

- ② 町独自の米粉加工品の開発は、設備投資の面で厳しいが、町内菓子業者に働きかけたい。尚、米粉業者との契約や、秋田63号の作付の制約があるものの、八郎潟町としても米粉用米の生産に取り組む。
- ③ 12人のメンバーで、3カ所に展示圃を設置し研究して来た。反収は、8俵程度確保した。販売先は、関東ふるさと会へ20俵。小中給食へ65俵。残りは、農協へ。価格は、ふるさと会へは、30kg送料込1万円。



湖東地区消防署八郎潟分署

消防組織の広域合併について

学校給食へは、精米30kg 9千360円。又、東京浅草のスーパードキャンペーンを実施した。今後、定着に向け努力する。

問 当初の計画では、今年4月からの合併と聞かされ、昨年構成6市町村の内、3人の首長が変わる事態を受け、一年先送りの平成22年4月と説明を受けて来た。しかし、今だその内容が、明らか

に示されていない。その内容と今後の見通しを問う。町長 平成22年4月の統合めざし協議して来たが、負担金が現在より多くなることや財産の取り扱い方、分署の統廃合等、運

金 一義 議員

我が町における小中一貫した考えに立った教育の充実の捉え方をどのように考えているか

問 資源の乏しい我が国は世界に冠たる経済大国であり、平和な国家であるのは教育の充実こそが、その礎であったこと

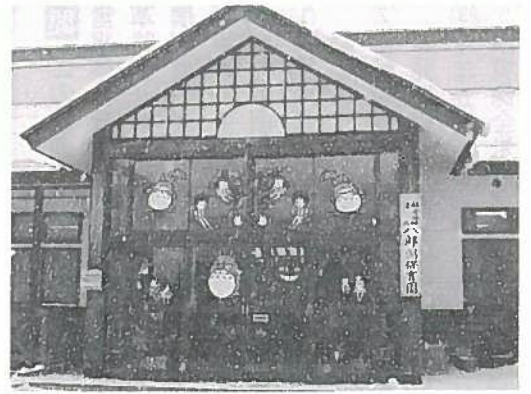
は否めない事実です。このように、「教育」はいうまでもなく、人間にとつてなによりも重要なものであります。

昨今の社会環境の変化により、ある意味でこれまでの教育制度は時代にそぐわなくなってきたお

営計画の策定に調整が必要となり、2カ年程度繰り延べる事とした。今後とも、予想される人口減少やデジタル化等をふまえ、安全安心な地域社会の実現に向け、協議を進めることとした。

り、小学校6年と中学校3年というカリキュラムをより弾力的に組み替えることにより、より一層の教育の充実につながるものと考えます。最近特に小、中一貫に対する期待が大きくなってきています。少子化の進行する我が町の今後の状況をふまえ財政的見地からみても、また教育向上を目指すし近隣に先駆けてこの制度の導入を取り入れることを提案します。小、中一貫校制度の導入にたいする町の考えをお尋ねします。

教育長 教育委員会としても、小、中併設校の「上小阿仁村」の見学をしま



八郎潟保育園

幼保一元化について の考え方は

した。このような現状をふまえながらいろいろと今後の対策を検討してまいります。

問 幼保一元化は、働く母親が増えて保育園に入りたくても入れない、いわゆる待機児童が多いという背景のもと、政府の構造改革の一つとして発案されました。

しかし、幼稚園は文部科学省、保育園は、厚生労働省と管轄がちがいますが、保育時間や保育料のシステムなど、さまざま

まな条件面での格差もあり、一元化には多くの課題もあります。

現在のわが町には、町立の幼稚園と私立の保育園があります。

ここでも将来的に少子化の問題が存在します。町では、幼稚園の経営について、今後の対象児童数を調査しているようですが、幼稚園に入園する希望者をどのように把握しているか、お知らせ下さい。「子供家庭省」の創設を公約した民主党政権の誕生により「幼保一元化」の機運がますます高まるなか、今後の町の「幼保一元化対策」について現在の検討状況と、今後の見通しと取り組みについて、町長と教育長のお考えを伺います。

教育長 今後の推移を見極めながら、現在の状態を維持してまいります。町に住んでいる、対象者

による入園児童のアンケート調査を行っております。

派遣型保育介護 サービシ制度の 確立について

問 核家族という言葉が使われてから久しいですが、我が町もその例外ではありません。このような核家族の場合、母親が急病になったような危機的状況があった時に早急に対処する事態が想定されます。核家族であるがために心配なことも多々発生するのであります。そこで核家族化に対処した派遣型保育介護サービシ制度の提案をしますが、人材は地域の方々の力を活用するようにし、安心して暮らせる町づくりのためにこのような制度の確立が必要と思えますが、町長の考えをお尋ねいたします。

町長 保育所の一時、預かり制度を利用しているようです。一年間に220人の園児の利用が報告されています。

八柳 祐孝 議員

町政における 「行政刷新会議」 的事業仕分けの 実施について

問 鳩山新内閣が始動し行政刷新会議における事業仕分けが大きな話題となった。連日「廃止」「削減」という言葉が乱れ飛び、中にはかなり乱暴かつ拙速とも思える結論もあつた。しかしこれまでにない、スピード感、ダイナミックさ、客観性が、大方の国民の共感を呼んだことも確かである。

我が町の現状を顧みる時、これまで多くの無駄の削減、見直しは行われてきたが、行政内部だけではなく、専門的見識を有する第三者の客観的な視点を取り入れることによって、より効率的かつスピーディーな改革が可能になるのではないか。先程の他議員の質問に答弁された、役場内部からの見直しでは限界があると

思う。

町長 17年度に作成された町の自立計画においてあらゆる角度から事業を精査してきた。以来人員削減はじめ精一杯の努力はしてきている。国と町では予算作成のシステムも異なり民間の視点といっても難しい部分もあるが、必要に応じてはそういったものを取り入れていく可能性もあるだろう。

小中教科書の全 社設置について

問 国の教科書検定に合格した教科書は各科目複数あり、例えば秋田市や三種町などの採用している教科書と我が町の小中学生が学んでいる教科書は異なる。受験における有利不利を出来る限り減らす為にも、図書館、あるいは学級毎に、全教科書会社の教科書を設置してほしい。

教育長 不採用になった会社から来るサンプルはすでに設置している。できれば全社のものを揃えたい。



八郎潟中学校図書館

地方分権に伴う権限移譲について

問 県からは、移譲項目について内閣府地方分権改革推進委員会第1次勧告で基礎自治体に権限移譲すべき事務とされ、秋田県権限移譲条例で既に対象となっているものについてなど働きかけがある。平成21年10月現在市町村への権限移譲状況は県平均では、46・5%で、本町では15・9%で県内25市町村中一番低い権限移譲率だが理由は。

町長 移譲項目の数にこだわってきたものではなく、本町まちづくりの方向性に合致するものについて受け入れるという考えで、必要でないものについては移譲を受けないとした結果である。対象項目82件のうち13件でその後2件を受け入れた。今後は十分に内容を把握して権限移譲に努めたい。



八郎潟中学校

小・中学校教育専門監の配置と校種間人事交流について

問 学校現場において、教科指導に卓越した力を有する教員の資質能力を活用して、学校の教育力を高めるため、特定の指導事務をつかさどる職である「教育専門監」の配置を希望する市長村教育

委員会からの推薦者について、県教育委員会が審査を経て認定している。担当教員と教育専門監と一緒に授業を行うことで、子どもの学習意欲が高まったほか、教員の指導力向上にも役に立っているとのことなので、来年度の施策に取り組みみては。また、教職員が他校種勤務の経験をもつことで学校が活性化するように、校種間人事交流をさらに

積極的に進めるために、中学校教諭の小学校との交流や教科指導に優れた教員の教育専門監を活用することによって連携の充実が図れるのでは。

教育長 教育専門監は本務校の指導だけではなく、近隣町村の要請にも答えなくてはならない。本年度は指導方法工夫改善にかかる定数加配により、小学校は学級数+1名、中学校は学級数+4名に更に3名（小1名、中2名）の※TTが配置され他町村より多くなっている。現在の状態を維持していく事をメリットがあると考え、教育専門監の申請はしない。校種間人事交流については、重点施策として、幼保・小中との連携を推進している。より専門的な指導には小・中併設校で実践しているように教員に兼務発令を申請し、小学校で中学校教員（またはその逆）が連携したTTでの乗入れ授業を計画する方法がある。

※：2人の先生による授業

健康増進に伴い弁天公園内の遊休しているゲートボール場迄のグラウンドゴルフ場の増設を

問 今、町でも健康増進のもと、社協と共に、転倒防止、筋々クラブ等、色々な運動事業を行っているが、これにはほとんど女性が多く、今、男性を中心にした、グラウンドゴルフ人口も年々増えている。我が町のグラウンド施設は近隣町村のグラウンド施設とは比べもの

ならないのは事実であるため、現在ほとんど使われていない弁天公園のゲートボール場迄の増設整備が出来ないものか。当然予算をとまなうことだが、グラウンドゴルフ協会と経費節減も考え作業奉仕等を含めた話し合いを出来ないものか。

町長 グラウンドゴルフは軽スポーツで誰でも出来る、その人口は年々増え、今年で19回の大会を終えており健康増進のため、改修工事を精査しながら前向きに考えていきたい。



弁天荘周辺

教育委員会の考 え方について

問 議員に選出されてから小、中学校の御案内を受け学校行事に参加して感じることに、特に運動会で行進整列を見て、規律の乱れに失望している。

準備運動はストレッチ体操、国旗、校旗には「廻れ右」から、「向きを変え」になっている。人の話を聞くにも、すべての行動に移るにも規律は一番大事なことだと思っ

ている。規律の「気を付

け」、「休め」、整列の「前、右、左、にならえ」、「廻れ右」は、軍隊主義ではないと思う。県の方針でないと思えば、ぜひ、少しでも改善を望みたい。教育委員会の考えを伺いたい。

教育長 集団行動の訓練には以前は1カ月もの期間を

かけ指導しており、現在は体育科授業、集会指導で1時間程度、現場ではなかなか多くの時間を持っていない状況。基本的な学びと、色々な活動場面の中で実践指導を先生方



議員表彰

八郎潟町議会議員

佐藤 長氏

去る、11月11日に開催された全国町村議会議長会において、永年にわたり町村議会議員として、地域社会の発展及び住民福祉の向上に尽力した功績により全国町村議会議長会創立60周年記念特別表彰を受賞されました。

各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

問 徴税費の筆耕賃金

についての募集方法は。

答 申告期間中窓口業務の短期雇用であり、業務に精通している関係から昨年度雇用した方を予定。

問 広告塔の修繕費についての場所は。

答 五城目街道の踏切脇にある広告塔で、照明の分電盤が腐食して漏電の恐れがあるため機器を取り替える。

問 町広報に幼稚園教諭採用の記事が記載されていたが、職員体制の不足か園児数などの運営上によるものか。

答 今後の園児数等の運営上の職員配置も教育委員会で話し合わ

ていますが、今年度については定年退職者が1名予定されているため採用となる。

民生産業 常任委員会

◆除雪関連

問 除雪対策費の修繕料について、主にどのようなところが壊れているのか。

答 11カ所ある。小学校の土砂の崩れもあるが、主なものは道路の縁石等である。

問 操作技術もあるだろうが、毎年同じ人と同じ場所の担当にできないか。

答 11月に業者に対して、才への路線を伝え、自分の担当地域の不安のある場所については

写真を撮り、チェックするように指導している。

問 住民に対して、除雪の方針等について説明する必要を感じるが。

答 声があれば対応します。情報があればお知らせください。また、苦情には迅速に対応している。排雪の強化や日中の輻(わだち)へも対応できる体制をとっている。一人世帯については家の前に雪を残さないように配慮している。

問 住民に対して、除雪の方針等について説明する必要を感じるが。

答 声があれば対応します。情報があればお知らせください。また、苦情には迅速に対応している。排雪の強化や日中の輻(わだち)へも対応できる体制をとっている。一人世帯については家の前に雪を残さないように配慮している。

問 介護予防サポーターの活動状況について。

答 8名が15回の講座をすべて終了し、修了式も行っている。今後の活動としては、講演会への参加や介護予防教室のサポートを予定している。メリットはこれから見えてくると思う。

◆介護関連

問 介護保険料について、今後の見直しで足りなくなることはないか。

答 介護予防教室の効果などがどれだけあるかも関係してくるが、参加した人で要介護度が上

がっている人はあまりいない。もつと広くこのような取り組みをすれば、介護度が上がる人は少なくなる。これによって給付が伸びなければ保険料は大丈夫と思う。

問 介護予防サポーターの活動状況について。

答 8名が15回の講座をすべて終了し、修了式も行っている。今後の活動としては、講演会への参加や介護予防教室のサポートを予定している。メリットはこれから見えてくると思う。

問 高額介護サービス費の増額補正については、対象となる人が増えているのか。

答 当初予算で抑えた予算にしたこともあるが、施設入所者が増えていることもあつての増額である。予防の必要性がますます求められる。



齊藤徹郎議員 逝去す

かねて入院加療中でありました齊藤徹郎議員が、平成21年12月12日午前1時15分永眠されました。享年75歳。

葬儀は17日こすもすおが南秋ホールセルビスで、おおぜいの会葬者が見守る中、八郎潟町、同議会、社会福祉法人榮寿苑福祉会、齊藤家の合同葬で行われました。

主な経歴

昭和40年から町議会議員通算12期、議長1期、社会福祉法人榮寿苑福祉会理事長。
昭和56年全国町村議会議員协会会长表彰、平成3年八郎潟町特別功労表彰、平成5年全国町村議会議長会特別功労者表彰、平成13年総務大臣感謝状、平成21年全国町村議会議長会創立60周年記念特別表彰、他。

平成21年

八郎潟町議会12月定例会提出議案

議案番号	審議案件	結果
議案第71号	平成21年度八郎潟町一般会計補正予算（第7号）について	原案可決
議案第72号	平成21年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第73号	平成21年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第74号	平成21年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第75号	平成21年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第76号	平成21年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第77号	平成21年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第78号	平成21年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第79号	平成21年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第80号	八郎潟町固定資産評価審査委員会委員の選任について（畠山 晃）	同意
議案第81号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（江島 廣）	同意

請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
改正貸金業法の早期完全施行等を求める陳情書	秋田県司法書士会 会長 鈴木 敏 夫 他2名	民生産業	採 択
雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 他1名	民生産業	採 択
社会保障と教育予算の拡充を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 他1名	民生産業	趣旨採択
くらし支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 他1名	総務教育	採 択
最低保障年金創設を求める陳情	全日本年金者組合湖東支部 支部長 土 橋 茂	民生産業	採 択
後期高齢者医療制度の廃止をもとめる陳情	全日本年金者組合湖東支部 支部長 土 橋 茂	民生産業	継続審査
2010年度の年金確保に関する陳情	全日本年金者組合湖東支部 支部長 土 橋 茂	民生産業	採 択
米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願	農民運動秋田県連合会 (紹介議員) 委員長 佐藤 長右衛門 北嶋賢子	民生産業	採 択
EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願	農民運動秋田県連合会 (紹介議員) 委員長 佐藤 長右衛門 北嶋賢子	民生産業	採 択



議会のうごき

10月

- 5日 町表彰審査会
- 9日 県町村議会理事会 (市町村会館)
- 10日 八郎潟保育園30周年記念式典
- 15日 秋田県町村等監査委員協議会研修会 (五城目町)
- 16日 盆踊り実行委員会 (ロマンの里)
- 19日 例月出納検査
- 24日~25日 文化祭 小学校学習発表会
- 26日 町表彰式
- 29日 遺族連合会地方大会 (改善センター)
- 30日 第7回臨時会
- 31日 教育振興大会 学力向上県民フォーラム (改善センター)

11月

- 1日 消防団駆け付け訓練
- 11日 高速道路整備促進秋田中央大会 (秋田市)

- 10日~12日 全国町村議長会 (東京)
- 12日 例月出納検査
- 16日~17日 定期監査
- 18日 南秋議長連絡協議会正副議長・事務局職員合同研修会 (五城目町)
- 24日 県市町村議会議長会知事との行政懇談会 (秋田市) 湖東地区行政一部事務組合議会 (井川町)
- 25日 第8回臨時会
- 27日 県議長会60周年記念パーティー (秋田市)
- 28日 幼稚園発表会

12月

- 1日 議会運営委員会 広報編集委員会
- 9日~11日 12月定例会
- 13日 全員協議会
- 17日 齊藤徹郎氏 合同神葬祭 (潟上市)
- 18日 例月出納検査
- 21日 広報編集委員会 八郎湖周辺清掃事務組合議会 (男鹿市)
- 22日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 24日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会



◆議会広報編集委員会

委員長 北嶋 賢子
副委員長 菊地 文人
委員 近藤 美喜雄
小島 山 金 留
三戸 野 廣 吉

もう昨年の事になってしまったが、年も押し迫った12月12日、八郎潟町議会は重鎮を失った。大先輩である齊藤徹郎議員である。奇しくも、12月定例会最終日待つかのように、しつかりと見届けての旅立ちであった。戦中、戦後の動乱期を生き、昭和の大合併からの新生八郎潟町発展の為に、御尽力頂いたことに心から感謝申し上げたい。若い世代への助言も数多くあったことであろうし、指導を受けず仕舞になったことは私としては非常に残念なことである。時代はまさに動乱真只中。平成維新と自ら称した新内閣は政権運営の難しさにたじろぐ事が目につく。明治維新もそうであったろう。改革にはエネルギーが必要。わが町も、老いも若きも世代を超えた協働力で、国政の変革に対応すべし。齊藤先輩はそう願っているはず。(かねみ)

編集後記